



# 思考のすすめ 文中スライド集

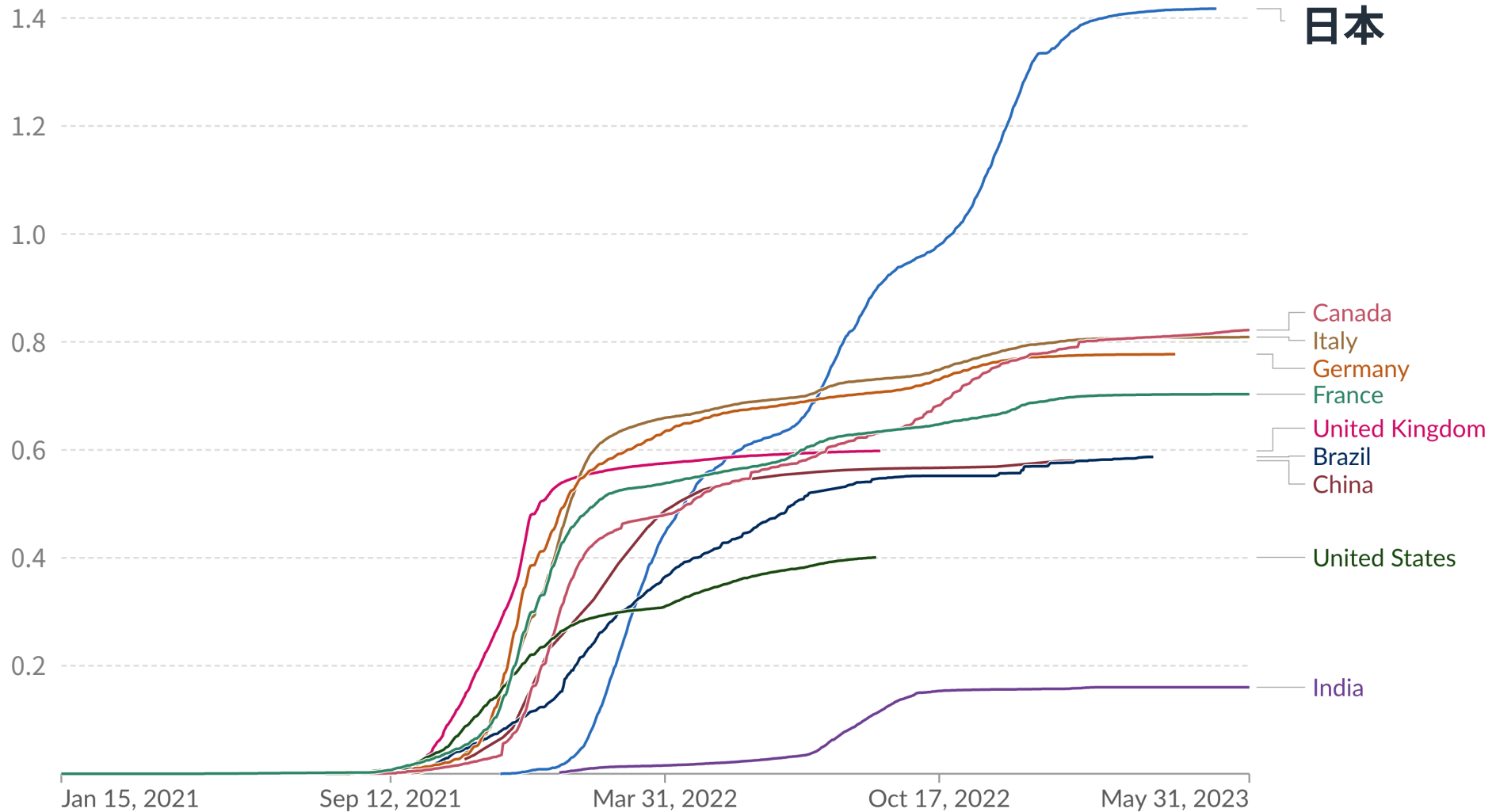
2026/6/20

Liffel



# COVID-19ワクチンのブースター摂取回数の国際比較（GDP上位10カ国）

（人口1人あたりブースター接種回数）

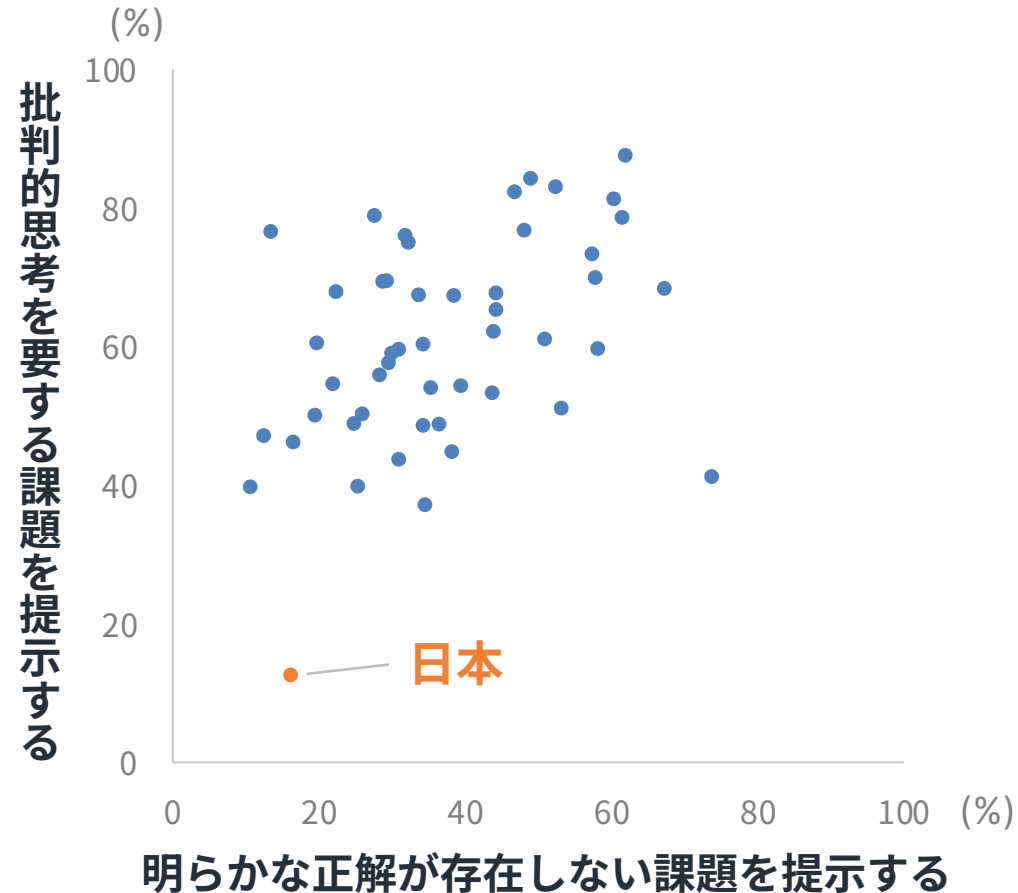


Source: Our World in Data

# 日本の教育と合理的思考

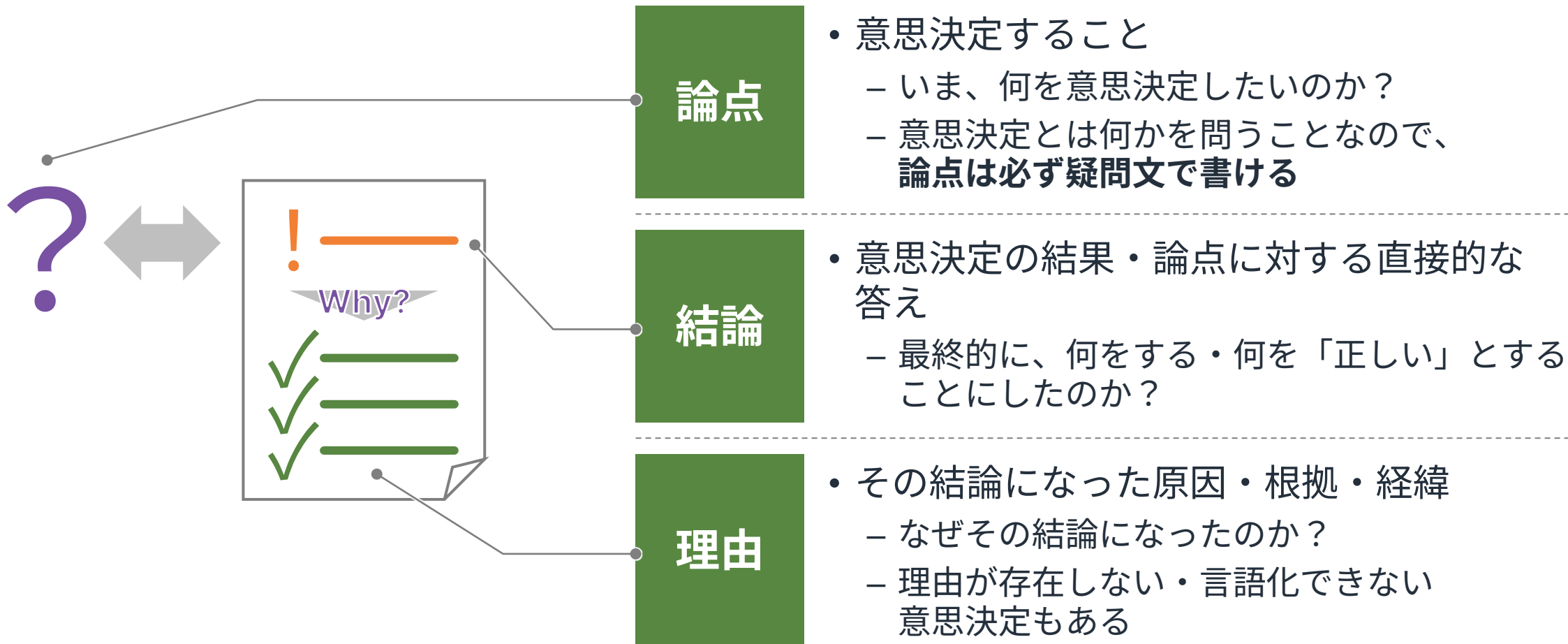
- 日本では、正解がない問いに答える方法を教えていない

自らの授業において、以下の指導実践を「しばしば」または「いつも」行なっていると回答した中学校教員の割合（TALIS 2018）

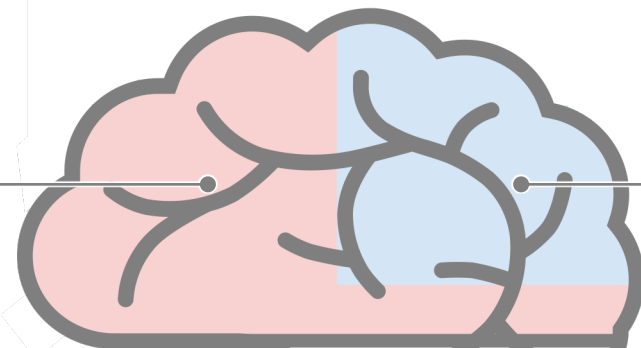


# 意思決定の3要素

- 意思決定は①論点、②結論、③理由の3要素で構成される
  - この言葉を使うと「意思決定とは、論点（問い）に対する結論を出すことである」と言い換えられる



# 野性システムと理性システム



## 野性システム (システム1)

## 理性システム (システム2)

### 定義

- **いきなり結論が出る意思決定システム**
  - いわゆる「本能」

- **じっくり結論を出す意思決定システム**
  - いわゆる「理性」

### 意思決定の仕方

- **速く・コストがかからない**
  - 論点が意識される前に結論が出る
  - 理由はないか、あるとしても後付け

- **遅く・コストがかかる**
  - 論点を意識するところから始まる
  - 理由から結論を導く

### 状態

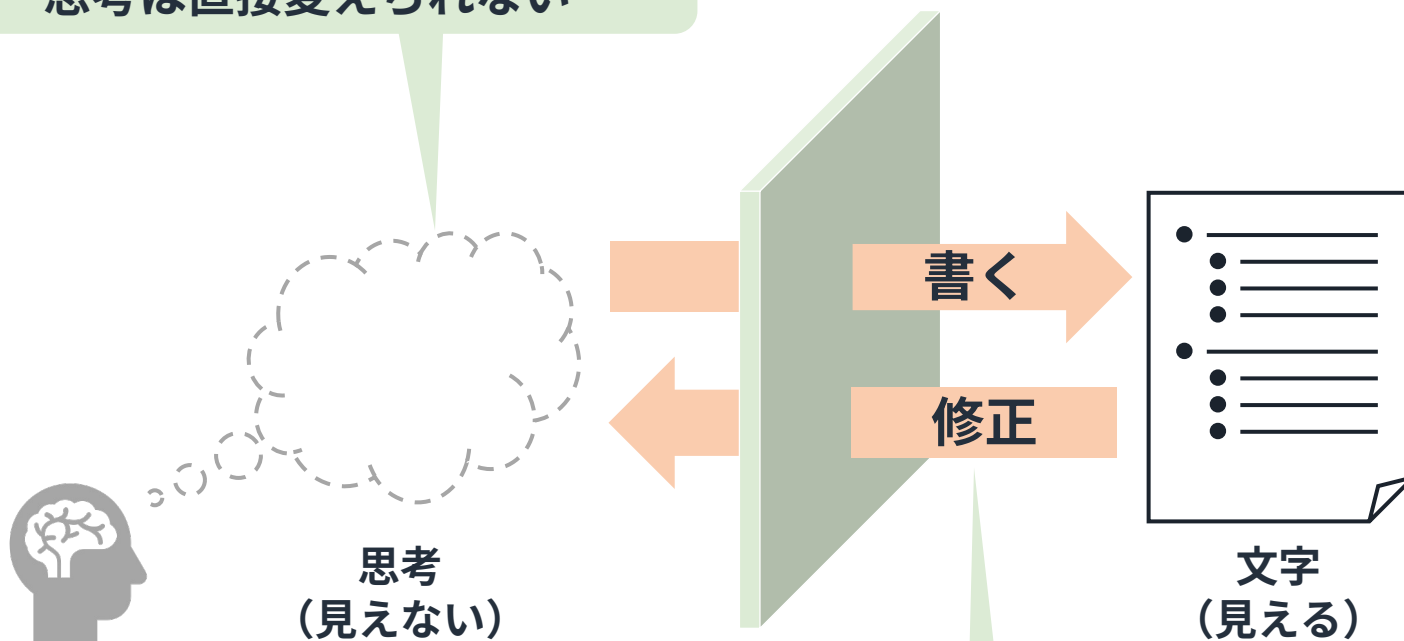
- **常にオン (自動操縦)**
  - オフにはできない

- **通常はオフ (マニュアル操縦)**
  - 使おうとしないとオンにならない

# 合理性の大原則：テキスト（文字）を使用する

- 文を書き、それを修正することでしか、合理的思考は身につかない
  - 思考を文字という鏡に映して、それを修正していく

ゴールは思考を変えることだが、  
思考は直接変えられない



そこで、書いた文字を修正することで、  
思考にフィードバックする

# 論点ズレの例

背景にある問い

車は社会に必要なか？

実際の発言

車は社会に必要なだ。  
物資や人の運搬に  
欠かせない。



実際の発言

それを交通事故の  
遺族に向かって  
言えますか？

背景にある問い

あなたは正論で人の  
傷口をえぐることが  
好きですか？



論点が一致しない  
→ 論点ズレ

# 練習問題

背景にある問い

実際の発言

実際の発言

背景にある問い

A

筋トレは健康にいい。始めてから体調が良くなった。



痩せたいなら食事制限のほうが有効だよ。

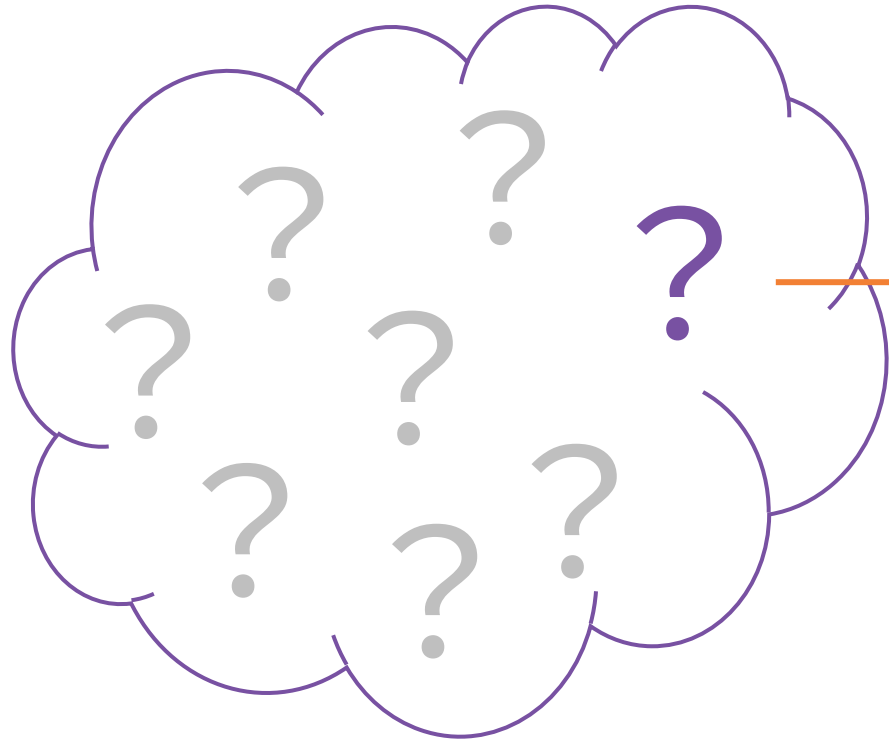
B



論点が一致しているか？

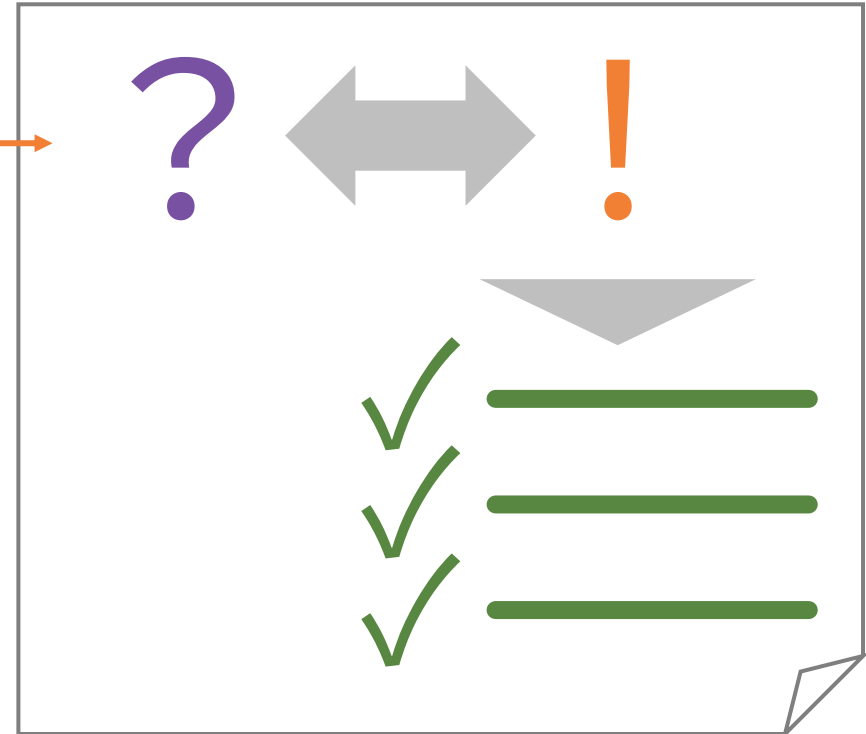
# 論点設定と合理的思考

## 論点設定 (論点の価値)



何を考えるか (論点) を  
決める

## 合理的思考 (正しさ)



ある論点に対する  
正しい答えを考える

# 意思決定のプロセス | 意思決定と合理性



## 論点

- 何を意思決定するかを決める
  - いま、何に答えを出すべきか？

結論に至るためのあらゆる活動

- 結論を導く
  - 理由を考える、リサーチするなど

合理性が問われる部分

- 合理性とは、結論を導くプロセスに問われることである
  - どのように結論に至ったのか？



## 結論

- 最終的な結論を確定させる
  - 論点に対する答えは何か？

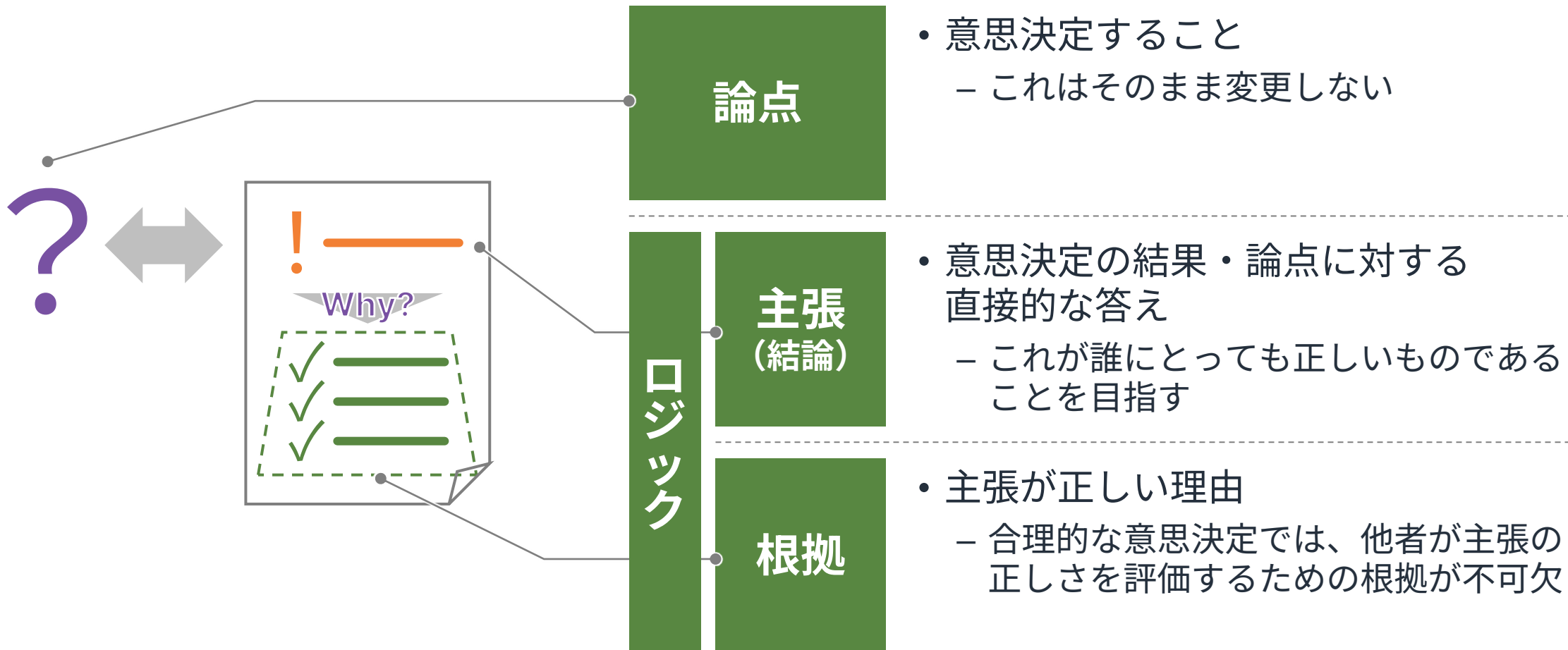


- 結論に基づいて何かをする
  - 結論を実行に移す、結論を発表する、など

- 最終的な結論（決断）が正しかったかは、合理性と直接的な関係はない
  - 非合理的に出した結論が正しいこともある

# 合理的な意思決定の3要素

- 合理的な意思決定では、論点に対するロジック（主張と根拠）を構築する
  - 意思決定全般のケースと異なり、根拠がないことは認められない





家を買うべきだろうか、  
借りるべきだろうか？

借りるべきだと私は思うよ。

理由は3つある。

まず、今の日本で不動産を買うのは高値づかみになる可能性が高い。日本の人口はこれから減り続けるわけで、家はこれから余る一方だからね。これは借りる視点に立つと、家賃は下がっていく可能性が高いということだ。家賃相場に合わせて家を借り替えるほうが得なんじゃないかな。

2つめに、引っ越しに対する柔軟性だ。君はまだ若いし、この町にずっと住むって決めたわけじゃないだろ？  
だったら、賃貸のほうが何かあったときに動きやすい。

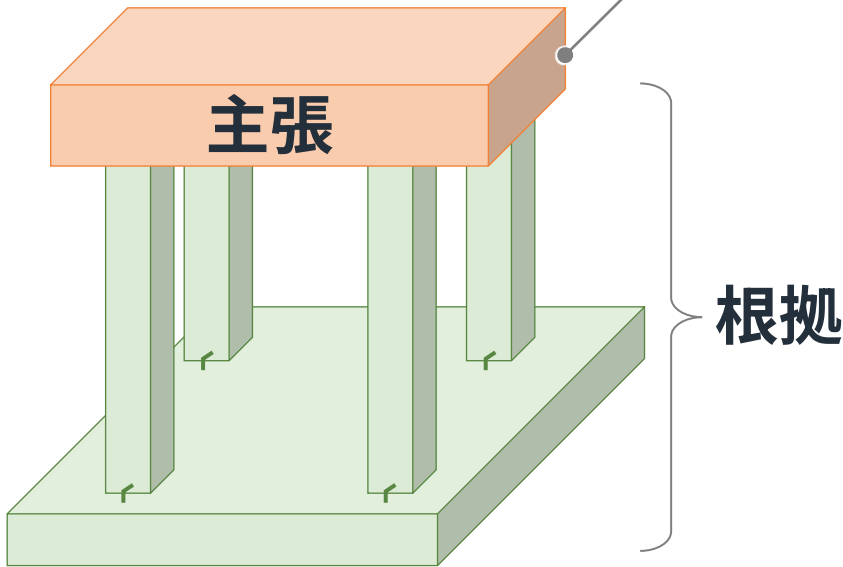
3つめに…… (以下略)



# ロジック（主張と根拠）のイメージ | 合理性とは

- 合理性とは、根拠が主張の正しさを支えきれているかを検討することである

## ロジック=文の建築



- **主張は一文しかない**

- 特性上、主張を複数の文で述べることはできない
- 合理的な意思決定のゴールは、これを万人に正しいものにする（＝屋根を安定させる）

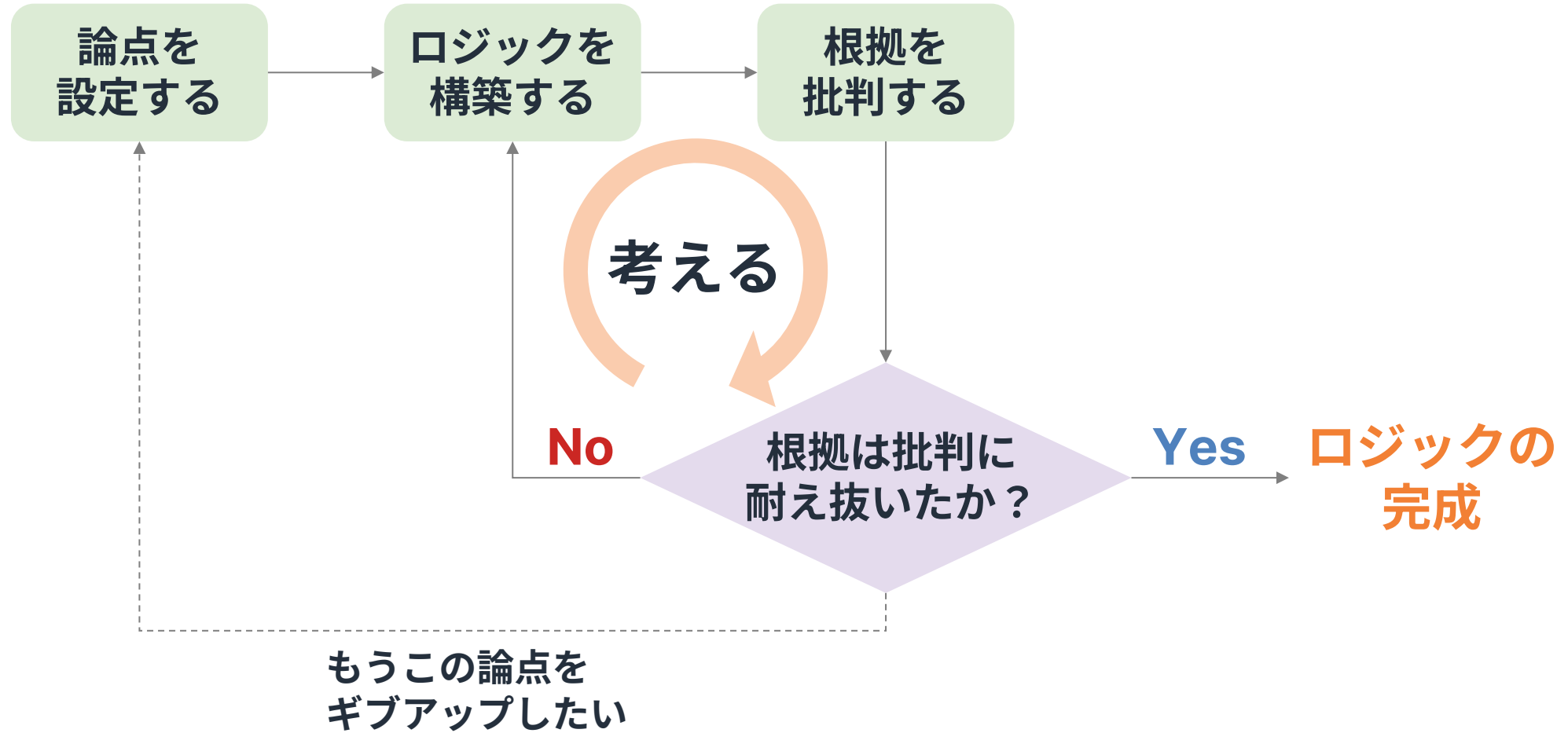
- **根拠は複数の文で構成される**

- 主張の正しさを支えるためには、多くの言説が必要になる
- ロジックの大半は根拠だと考えて問題ない

- **根拠が主張を支えられるかで「合理的である」かが決まる**

- 屋根が誰から見ても安定しているなら、その主張は合理的である

# 根拠の強度テストをするとは | 合理的に（批判的に）考えるとは



# 確証バイアスとは

- ・ 確証バイアスとは、自分が既に持っている意見・信念を肯定する情報ばかりを集めようとする傾向のこと

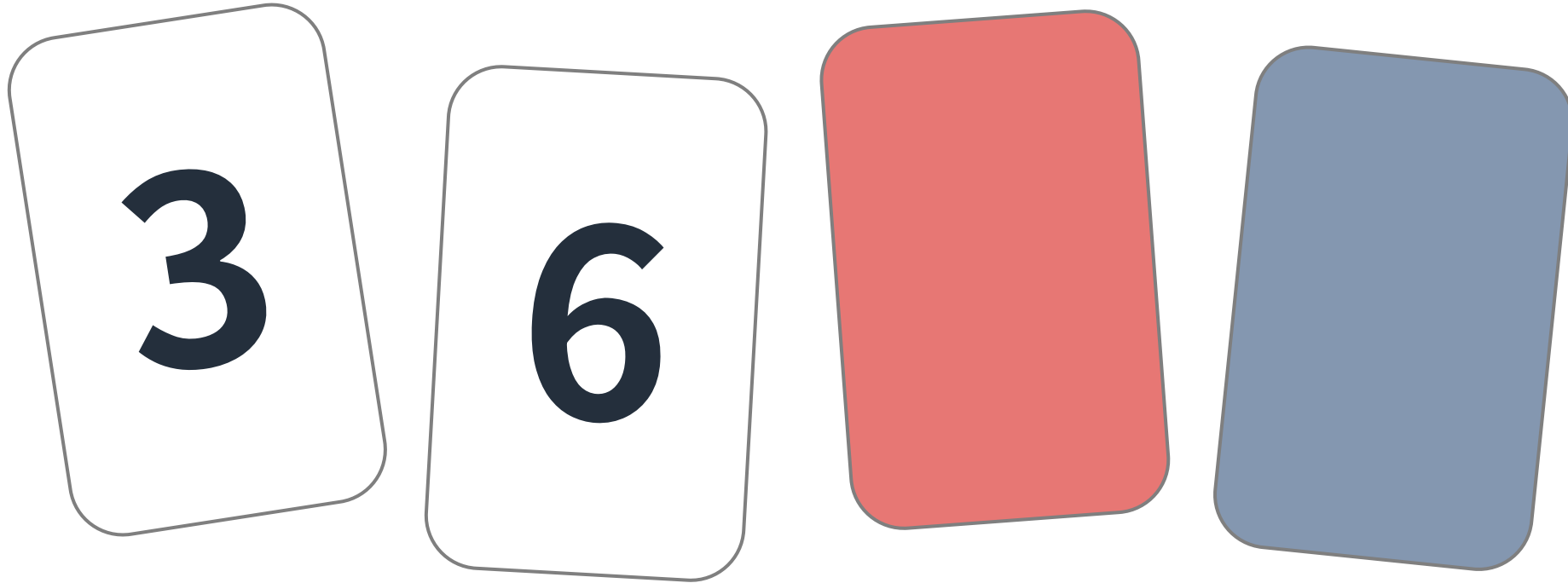


- ・ 確証バイアスによって自分の意見・信念に肯定的な情報ばかりが認知され、否定的な情報が認知しにくくなる
  - このバイアスは無意識レベルでかかってくる

合理的に考えたいなら疑う必要があるが、それは人間には難しいことである

# ウェイソン選択課題

---



# 論点の分類

## 問うこと

## 結論に議論の余地があるか（論点の呼び名）

ある

ない

行動

- 何をするか？
  - 原則として、このタイプの問いが論点になる

### 行動論点

- 例：毎日ランニングをするべきか？

問いが  
存在しない

価値

- どうあるべきか？
  - 答えの絶対的な正しさを期待できない

### 価値論点

- 例：お金と健康はどちらが大事か？

事実

- どうであるか？
  - 答えの絶対的な正しさを期待できる

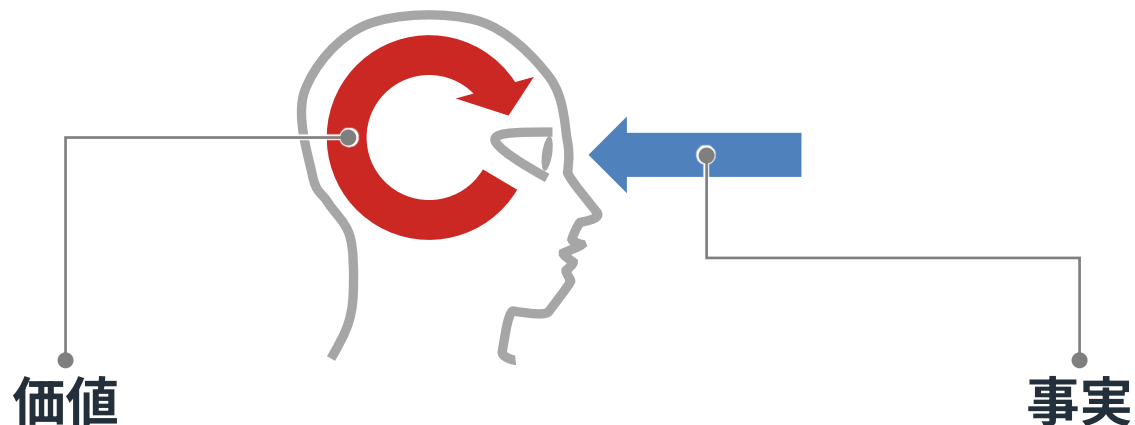
### 事実論点

- 例：ランニングは健康にいいか？

### テスト問題

- 例：江戸幕府を創立したのは誰か？

# 価値と事実



## 定義

- 自分の内側で生じること
  - 感情（希望や欲望）や、そこから導かれる規範・ゴール・道徳
  - 「であるべき・善悪」の世界

- 自分の外側にあること
  - 観察できること（観察事実）や、そこから導かれる原理・法則
  - 「である・真偽」の世界

## 関連ワード

- 政治・宗教・文化
- 本能・遺伝子

- 科学・理（ことわり）・知識
- 理性

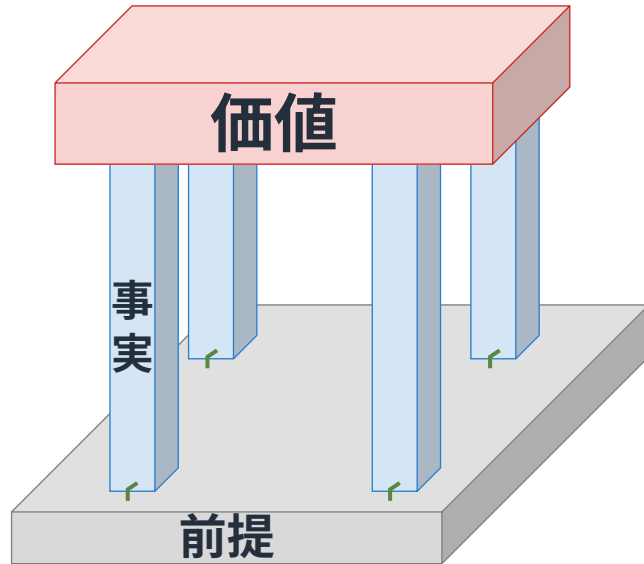
## 絶対的な正しさを

- 期待できない
  - 価値の根底にある感情は人それぞれ

- 期待できる
  - 人間は同じように観察している

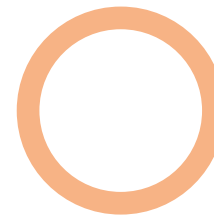
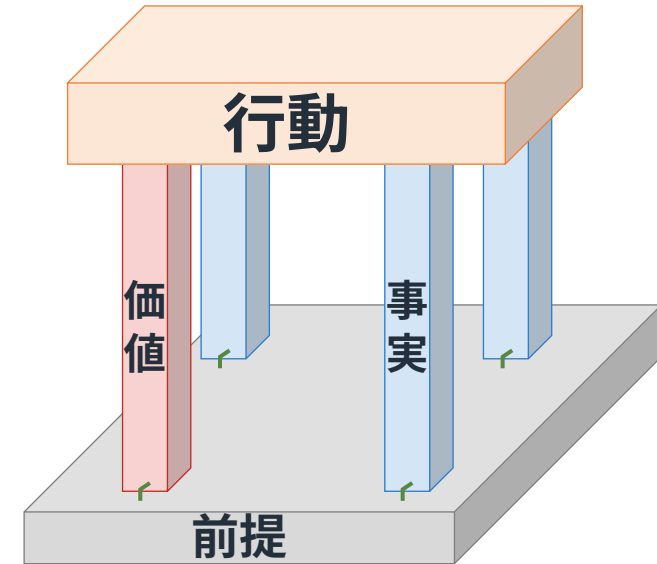
# ヒュームの法則（である-べき問題）を正しく理解する

## 事実から価値を導く



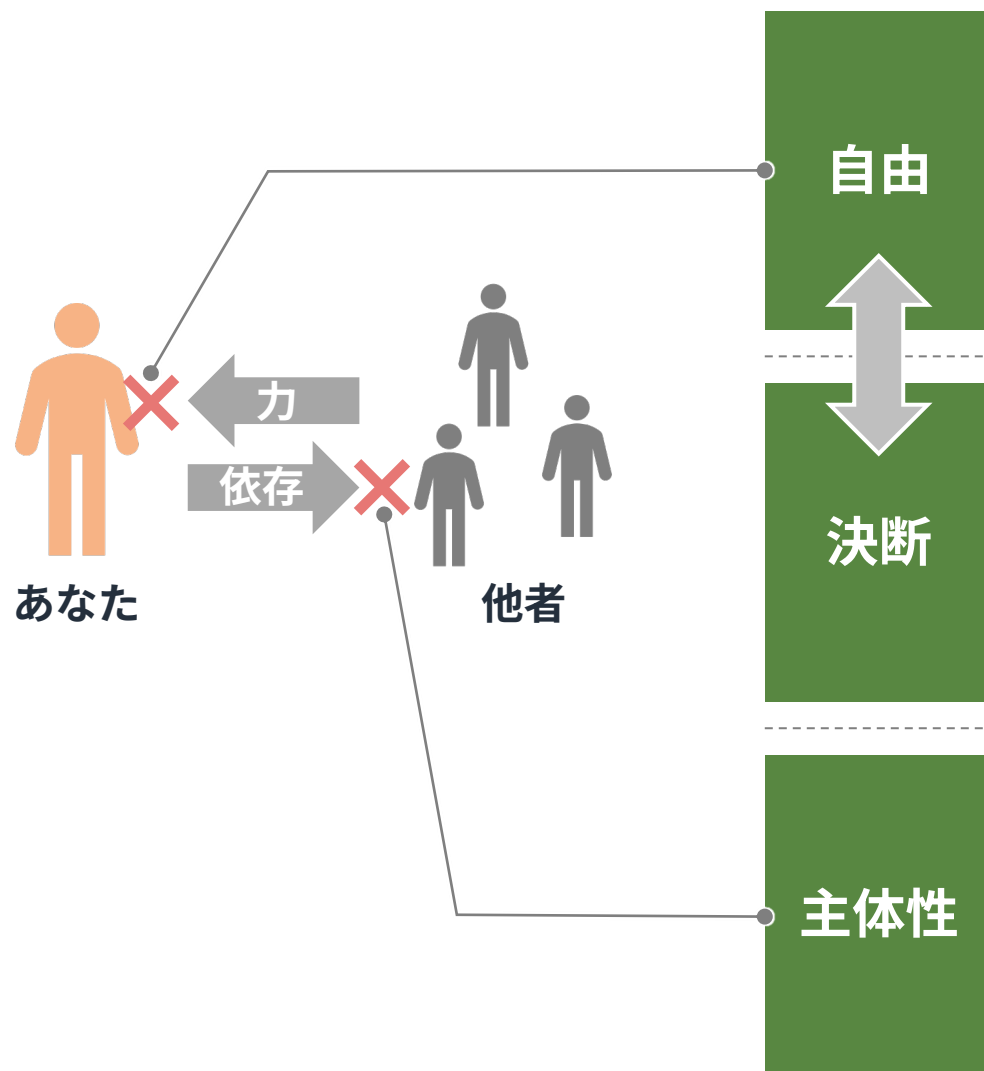
- このように価値を導いても、その正しさは保証されない
  - 価値には正しさを決める方法が存在しない

## 価値と事実から行動を導く



- 行動を導く根拠に価値があるのは問題ない
  - 価値を絡ませないで行動を決めることは不可能

# 主張の3条件



- 十分なコストを投入するまで決断しなくていい状態・環境である

- 決断：結論を確定し、意思決定を終えること
- **主張が柔軟であるということ**

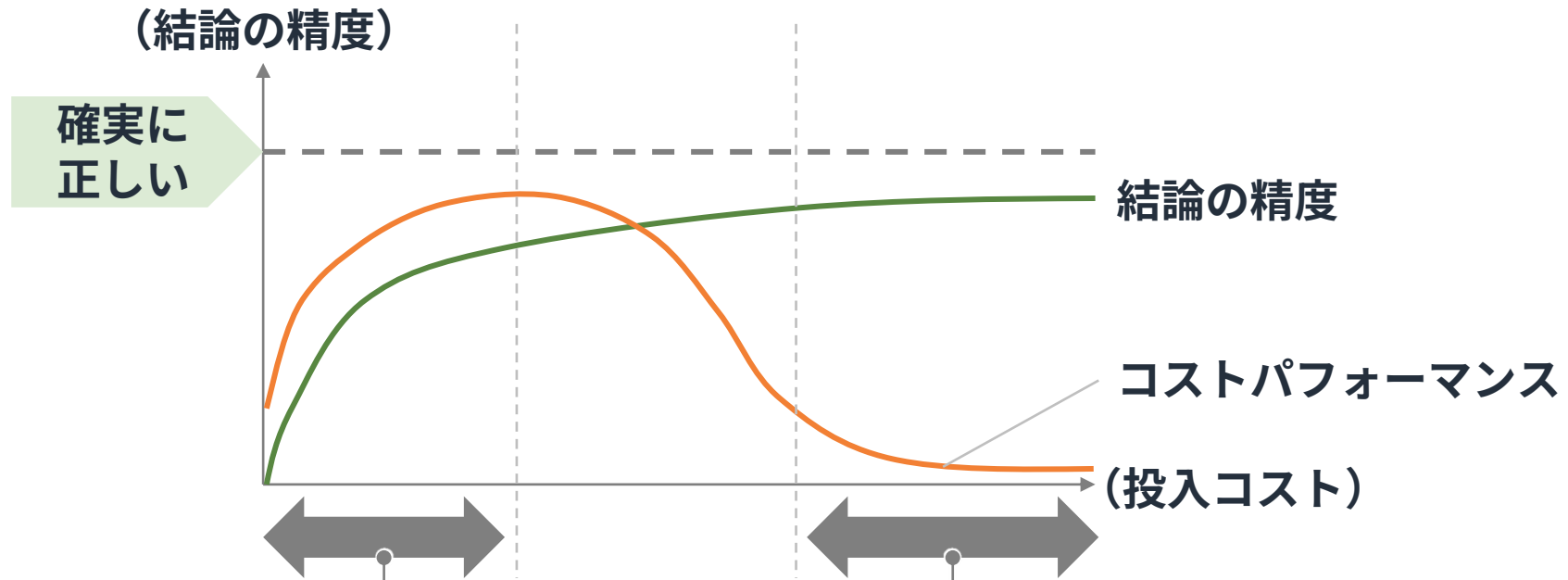
- 十分なコストを投入したら決断するか、意思決定そのものを中止する（合理性の条件ではない）

- コストを投入し続けても結論の精度は高まらず、意思決定のコストパフォーマンスが悪化する

- 自分の頭で考え、その主張に責任を負う（事実に関して権威主義にならない）

- 権威主義：観察されたことではなく、他者の主張を無条件に信用する姿勢

# 意思決定のコストパフォーマンス (イメージ)



- 十分なコストを投入する前に決断するのは**非合理的**
  - 効率よく結論の精度を上げる可能性を放棄している

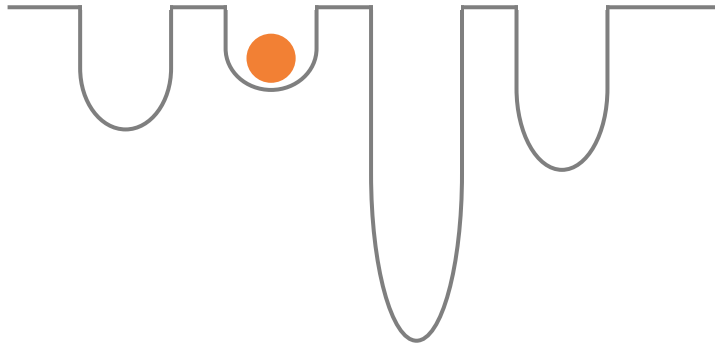
- 十分なコストを投入しても決断しないのは**非効率**
  - コストを投入し続けても、結論の精度はそれに見合うほど向上しない

# 意思決定におけるコストの正しい使い方

---

## 意思決定ルーレット (イメージ)

---

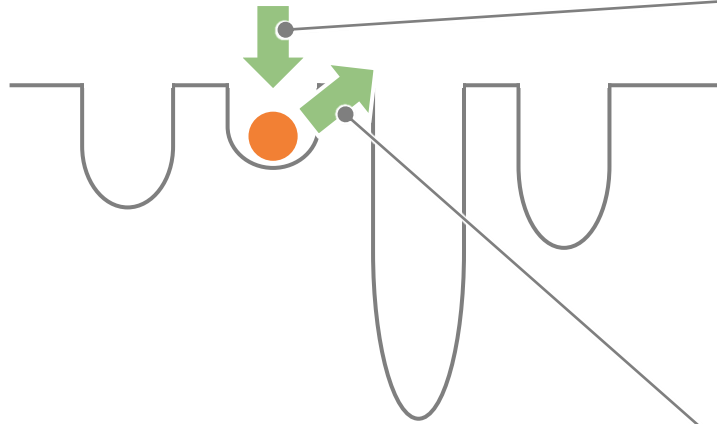


### <ルール>

- なるべく深い穴に玉を落ち着かせることがゴール
  - 「穴の深さ=真実への近さ」と考える
- 穴の深さは事前には分からないし、玉が落ち着いた後も完全には分からない
  - 自分の結論が真実かどうかは決して分からない
- 玉にはどのような力をかけてもいいし、何度でも力をかけられる

# 意思決定におけるコストの正しい使い方

## 意思決定ルーレット (イメージ)



- 自分の現在の主張を肯定する情報を集めても、合理性には貢献しない
  - それは玉を現在の位置に押し込んでいるだけ
  - このように力をかけても、主張が変わる可能性はゼロ

### <ルール>

- なるべく深い穴に玉を落ち着かせることがゴール
  - 「穴の深さ=真実への近さ」と考える
- 穴の深さは事前には分からないし、玉が落ち着いた後も完全には分からない
  - 自分の結論が真実かどうかは決して分からない
- 玉にはどのような力をかけてもいいし、何度でも力をかけられる

- **自分の現在の主張を否定する情報**しか、合理性を高めることには貢献しない
  - 玉を現在の位置から横に掻き出す力
  - この力をかけ続ければ、玉は深い穴に落ち着く

# ダブルスタンダードの例

## 発言

マラソン中だろうが  
サウナの中だろうが、  
マスクをするべきだ。



マスクをしたら熱中症に  
なるデータはあるの？  
論文は？



## 発言

熱中症になるリスクの  
ほうが上では？



## 要求している根拠のレベル

### • 最低レベル

- このロジックには根拠が存在しない



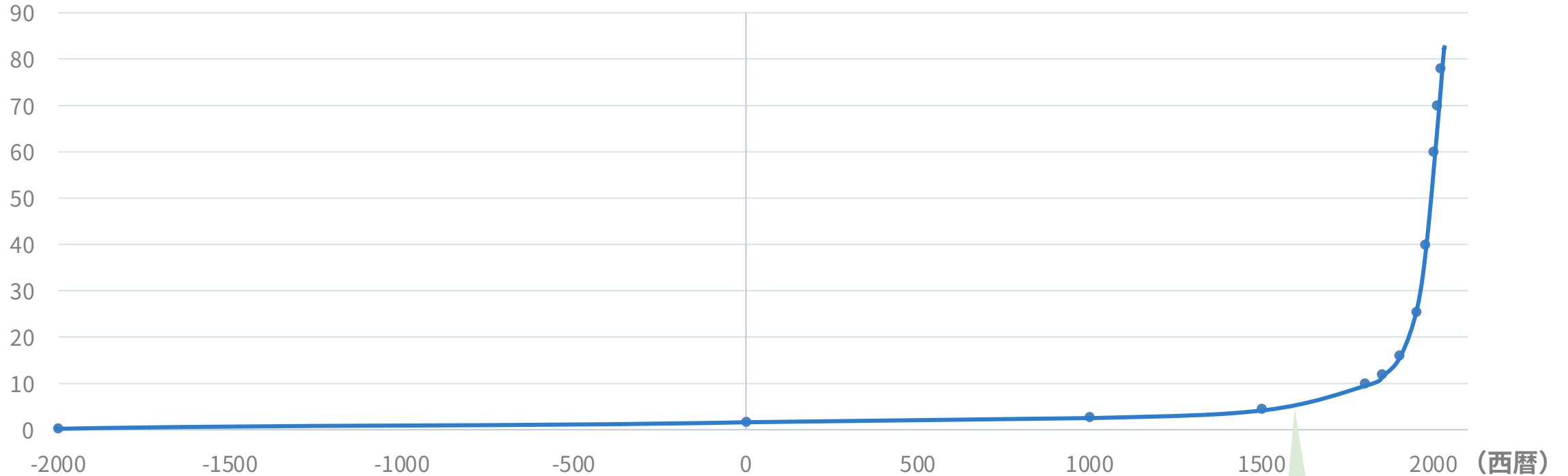
同じ論点にも関わらず、  
根拠の要求レベルが  
異なっている

### • 最高レベル

- 普通、こんなことにデータは用意できない

# 世界人口の推移

総人口（億人）



- 真実を見極める方法（合理性・近代科学）の確立によって、人類の急速な発展が始まった
  - デカルト（1596-1650）、ガリレオ（1564-1642）

# 日本の非合理性の根本的な原因

- 力（人間の序列）以外の判断基準がないことが、日本の非合理性の根本的な原因ではないか
  - そのような社会規範のもとでは、主張の自由と主体性が担保されようがない

## 合理性の条件が満たされない状態

主張の自由



力の介入

主張の主体性



権威主義  
(力への依存)

- 日本の大半の人・組織で、この2つの条件が満たせていない
  - これが日本の意思決定の特殊性

## その原因となっている社会規範（仮説）

### 序列教

力だけが唯一の  
拠りどころ

力の基準は  
人間の序列である

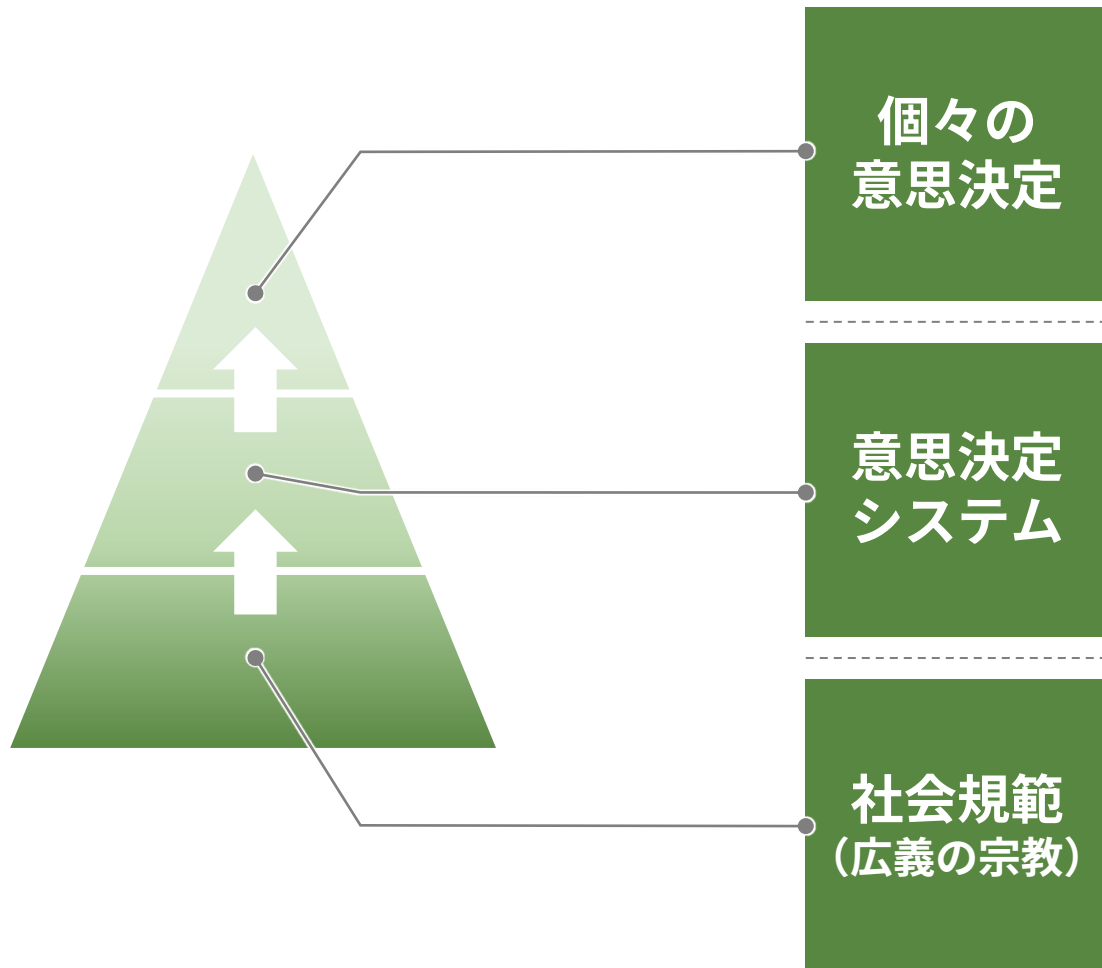
偉い人が正しさを  
決めるのは当然

### 序列教になる理由

- 教育
  - 序列教信者の養成所
- 法規制
  - 序列教を保護するルール
- 神様の不在
  - 人間がどこまでも偉くなる  
(人間が神様になる)

# 意思決定と社会規範（広義の宗教）の関係

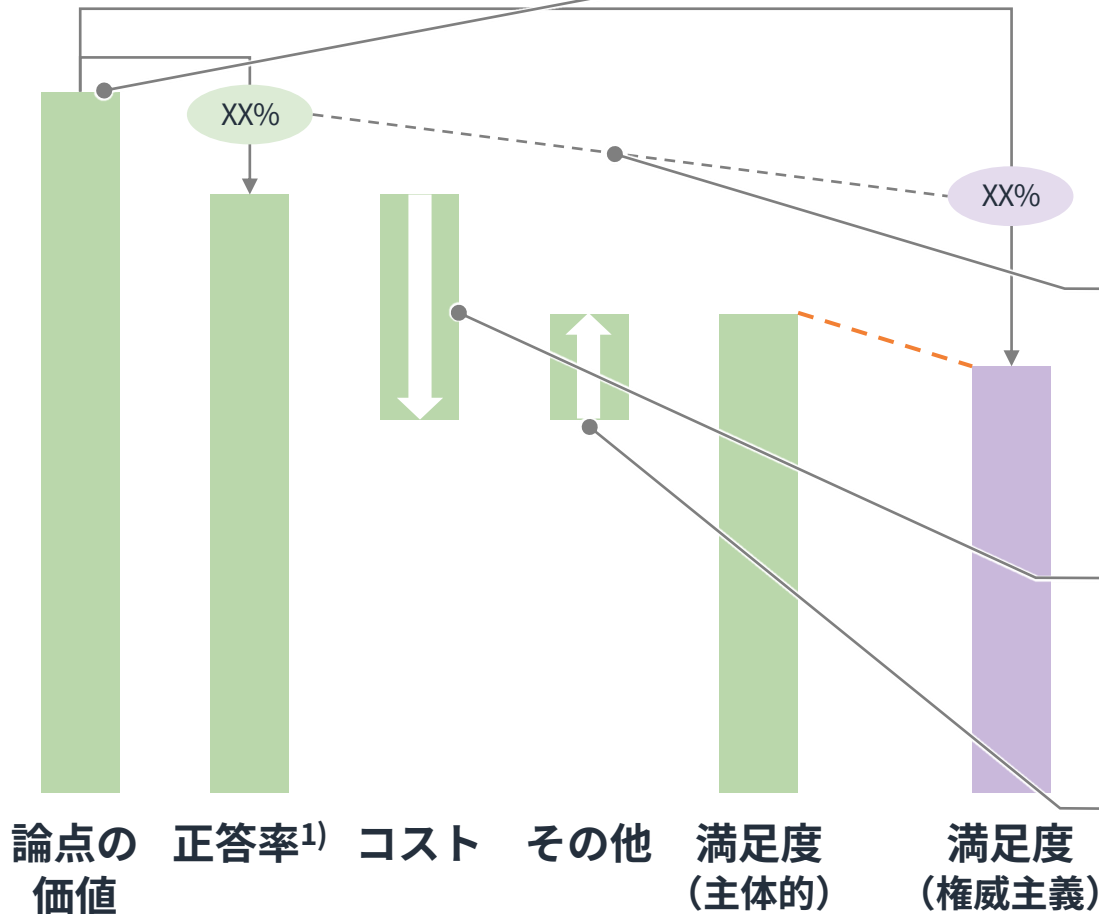
- 私たちの意思決定は、根底にある社会規範に影響を受ける
  - 社会規範が意思決定システムを作り、それによって個別の意思決定がなされる



- 個別の論点と、それに対応する結論
  - 採用された意思決定システムによって結論が導かれる
- 意思決定の仕方をパターン化したもの
  - 大別すると、野性システムと理性システム
  - 理性システムの中に、さらに細かい個人ごとの傾向がある
- 社会（集団）の構成員が共通して持っている、社会の基盤となる価値観
  - 価値を揃えないと社会が安定しない
  - 明示的な宗教（キリスト教など）に限らない

# 主体的に考えるための前提と条件

## 意思決定の満足度モデル（イメージ）

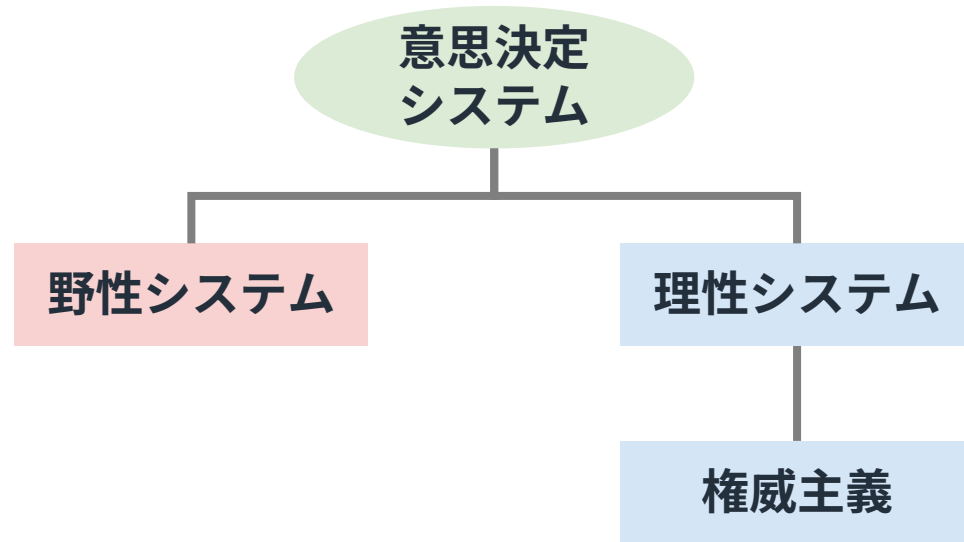


- **価値のある（重大な）論点である**
  - 主体的に考えることにはコストがかかる
  - 価値がある論点でないと、追加のコストに見合わない
- **自分の合理的思考力に自信がある**
  - 権威より上（最低でも同等）だと思えないと、最終的な満足度で下回る
- **学ぶことが得意・好きである**
  - 知識を仕入れる主観的成本が小さい
- **主体的に考えることを重視している**
  - 結果がどうあれ主体的に決めることを大事にするなら、満足度は上がるはず

1. 結論が正しくなる確率。あくまで比喩的な表現で、実際の意思決定には正解がないため、正答率は存在しない。

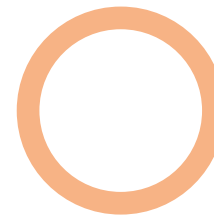
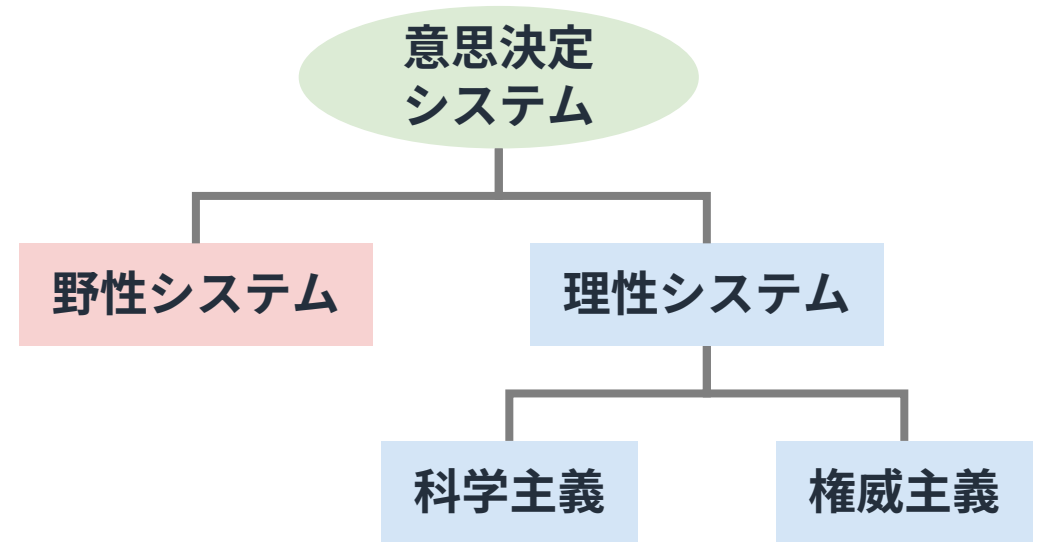
# 意思決定システムのあるべき姿

## まずいシステム構成



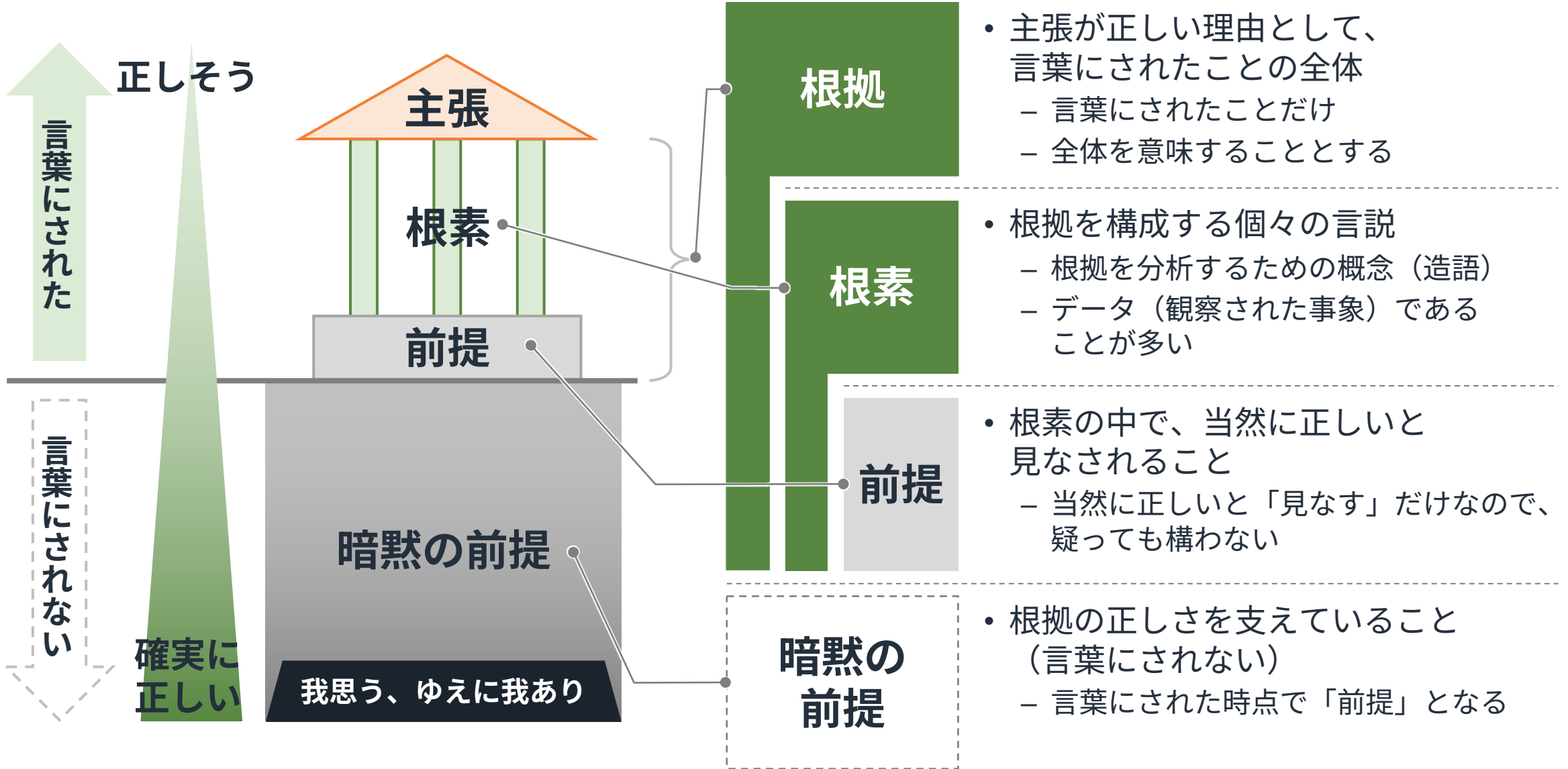
- これでは主体的に考えられる可能性はゼロ
  - 選択肢にない意思決定の方法は選べない

## あるべきシステム構成



- 必要に応じて科学主義と権威主義を使い分ける
  - 論点によっては、権威主義になることは問題ない

# 根拠の構造



# Thank you

Learn to make your life lovely.

© Liffel Inc. All Rights Reserved.  
<https://liffel.com/>

The logo for Liffel, featuring the word "Liffel" in a dark blue, serif font. A small green leaf icon is positioned above the letter 'i'.